



心と身体のトータルサポート



人生の最終段階を迎えるとき、住み慣れたご自宅で穏やかに過ごしたいと願う方も多いことでしょう。

私たちは、そんな大切な時間を安心して過ごせるよう、外科・内科・精神科の医師が連携し、サポートする体制を構築しました。

訪問診療を通じて、ご自宅での生活を支えることが私たちの使命です。医師だけでなく看護師や相談員、スタッフ、地域のサービス提供者と連携し、日々の変化を見守りながら、患者さまとご家族が安心して過ごせる環境づくりに努めています。



おうちで笑顔クリニックでの取り組み

今回は、当院の岡田定先生が推進している取り組みをご紹介します。

岡田先生は、聖路加国際病院の内科部長として多くの患者さんの命と健康を守り、生活習慣病のスペシャリストとして患者さん一人ひとりの生活に寄り添った医療を提供してこられました。当院には2024年4月より勤務頂いています。2025年6月よりフェイススケールを導入し、患者様の今の状態を正しく知ることに取り組まれています。

《著書》

「誰も教えてくれなかった 血算の読み方・考え方」医学書院 2011年
「レジデントのための 血液診療の鉄則」医学書院 2014年
「見逃してはいけない血算」日経BP社 2016年
「臨床検査技師のための 血算の診かた」医学書院 2017年
「どんな薬よりも効果のある治療法」主婦の友 2019年
「リモート診療」主婦の友 2020年
「内科医の私と患者さんの物語」医学書院 2021年
など約30の編著書あり



おうちで笑顔クリニック

日暮里駅
徒歩 1 分

荒川区東日暮里5-50-5アートホテル日暮里ラングウッド地下 1 階

03-5604-9545 (24時間365日対応)





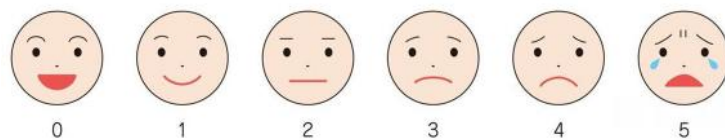
患者さんの「心の状態」を測るフェイススケール

私が訪問診療の世界に足を踏み入れてから、医療に対する考え方は大きく変わりました。

命を守るだけでなく、「幸せな生活」を支える医療

病院医療では「救命」や「延命」が最優先されます。しかし、在宅医療に足を踏み入れてからは、「命を支えるのと同じくらい、あるいはそれ以上に、幸せな生活を送れることが大切ではないか」と強く感じるようになりました。多くの健康問題を抱えていても、住み慣れたご自宅で、その人らしい日常を送り、笑顔で過ごすことこそが、患者さんのご家族にとっての本当の「幸せ」だと確信しています。これが在宅医療における私の使命です。

「心のバイタルサイン」：フェイススケールで「笑顔」を育む



患者さんの「幸せ」やQOL（生活の質）は、外見からは分かりにくいものです。そこで私は、患者さんの「今の気分」や「心の状態」を深く理解するため、2025年6月から「フェイススケール」を用いた評価を導入しました。ニコニコ顔（0）から泣き顔（5）までの絵を見せ、「今の気分はどれですか？」と尋ねます。これは、日々のバイタルサインをチェックするように、患者さんの「心のバイタルサイン」を測る試みです。予想とは異なる評価に、患者さんの真の気持ちに寄り添うヒントを得ることも少なくありません。この問いかけは、「あなたのことを大切に思っていますよ」というメッセージとなり、患者さんのご希望を引き出し、ケアに役立てる大切な対話のきっかけになっています。

「おうちで笑顔」の実現に向けて

私たち「おうちで笑顔クリニック」は、その名の通り、患者さんが「おうちで笑顔」になることを目指しています。患者さんの「笑顔」は、私たちの最大の喜びです。これからも、皆様の「安心」と「幸せな生活」のために、日々の診療に真摯に向き合い、地域全体の医療・介護・生活支援を担う皆様との連携を深め、皆様の生活に寄り添い続けてまいります。

（岡田 定）

事務局よりのご案内

事務局長 和泉逸平

- ・当院では7月より電子処方箋の発行に対応いたしました。これに伴い、在宅医療DX情報活用加算を届出しました。
- ・月に一度、在宅医療を支える事業所様との情報交換会を開催しております（第2月曜17：15～）。8月は4日に開催、ベッドの上で体を洗えるスイトルボディという介護テクノロジー機器の説明を行います。（事業所様向けの開催となります）